

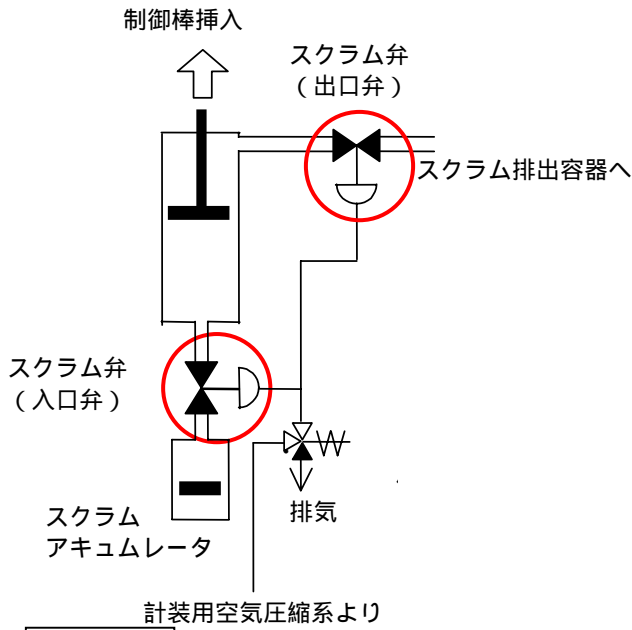
女川原子力発電所 定期検査・主要機器点検情報

No. 3

(平成18年2月分)

号	機	1号機		定 期 検 査	第 1 7 回定期検査	
件	名	水圧制御ユニットスクラム弁の弁箱、弁体および弁棒の傷について				
月	日	平成 1 8 年 2 月 1 0 日 (金)			発 生	発 見 確 認
場	所	原子炉建屋	設 備	制御棒駆動機構	設備区分	安全上重要な 系統
設備概要		原子炉を緊急停止（スクラム）する際には、空気作動弁（スクラム弁）を開いて制御棒を挿入します。空気作動弁（スクラム弁）には、入口弁と出口弁があり、制御棒を挿入するための駆動水が入口弁より入水し、出口弁を通して排水されます。				
所 見		・スクラム弁（入口弁）8 9 弁のうち 1 3 弁について分解点検を行ったところ、1 1 弁の弁箱内および 2 弁の弁棒に傷が発見されました。 ・スクラム弁（出口弁）8 9 弁のうち 1 3 弁について分解点検を行ったところ、2 弁の弁体シート部に傷が発見されました。 ・発見された傷については、弁の機能上問題となるものではありませんが、以下の通り、補修または取替えを実施しております。 （入口弁） 弁箱（ 1 1 弁）：傷は最大でも長さ約 7 mm、深さ約 0 . 0 5 mm 程度の微小なものでありましたが、念のため、補修しました(2 月 1 6 日)。 弁棒（ 2 弁 ）：傷は最大でも長さ約 1 mm、深さ 0 . 1 mm 以下程度の微小なものでありましたが、念のため、取替えを実施しました（ 2 月 1 6 日 ）。 （出口弁） 弁体シート部（ 2 弁 ）：1 弁については、弁の機能上問題となるものではありませんが、シート押え位置に傷があるため、念のため、取替えを実施しました（ 2 月 1 6 日 ）。 もう 1 弁については、長さ 4 mm 程度の微小なものでありましたが、念のため、補修しました（ 2 月 1 6 日 ）。				

スクラム弁概略図



主な傷



弁棒 (入口弁)



弁箱 (入口弁)



弁体シート部 (出口弁)

